

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015年5月20日		
所属学部	文学部		
所属学科・専攻	行動科学科・心理学専攻	学年	4年

1. 留学先について

留学先大学名	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校		
留学先所属学部等	心理学部		
留学期間	出発日 8月26日	入学日 9月2日	修了日 5月16日 帰国日 5月18日
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	10分	<input type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	シャトルバス	
	部屋のタイプ	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> (2)人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 共同スペース有 (キッチン、リビング、バスルーム) <input type="checkbox"/> 無	
食事	自炊 80 %	学食 10 %	外食 10 % その他 () *%で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	OSSMAセット型留学保険	
	大学指定の保険(名称)	Accident & Sickness Plan Designed for International Students	<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)		
	成田	⇄	シカゴ(飛行機) ⇄ ウィスコンシン(大学のピックアップサービス)

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,500,000	円	* おおよそでかまいません。
出処			
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input checked="" type="checkbox"/> アルバイト 100,000 円 <input type="checkbox"/> その他 円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親 600,000 円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円 <input type="checkbox"/> その他 円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 800,000 円	<input type="checkbox"/> その他名称 ()	円
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他 () 円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 70000 円	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード	円 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学中	<input checked="" type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他 ()

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	全額、クレジットカードで
住居にかかった費用	全額、クレジットカードで
その他	

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			205,380	円
海外旅行保険	USD	2076	238775	円
OSSMA	JPN	25200	25200	円
査証・在留許可証	USD	200	21000	円
住居	USD	7490	786450	円
食費	USD	2240	257400	円
通学に要する交通費	USD	0	0	円
教科書、教材費	USD	377	44000	円
その他大学に支払った経費	USD	3080	354200	円
光熱費	USD	0	0	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面 *必ず留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ex. 正規、聴講	単位数	単位認定の有無	
1 Colleague Writing in ESL	正規	6	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
2 Social Psychology: Psychological Perspectives	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3 Introduction to Interpersonal communication	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
4 Yoga I	正規	1	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
5 Experimental Social Psychology	正規	4	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
6 Clinical Psychology: Science and Practice	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
7 Principles of Marketing	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
8 International Cuisine	正規	1	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
9 Volleyball I	正規	1	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

登録時期: 秋学期5月中旬、春学期12月初旬 登録方法はPAWSという大学のアカウントを使用して登録する。PAWS上で登録できない場合は、registration formに教授からサインをもらって、registration officeに渡す。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業はだいたいがレクチャーセッションとディスカッション(もしくはラボ)セッションで構成されており、単位数に応じて1週間の授業数が決められています(1単位ごとに週1回50分)。また、オンライン授業はD2Lというオンライン学習サービス上にポストされたレクチャーのパワーポイントやビデオ、記事などを見ます。

3-3. 語学力について

始めは授業中の先生の言葉や生徒の発言が聞き取れないことが多々あったが、半年後には授業の理解が楽になった。1年後には、友人とスムーズに会話ができるようになり、授業中の発言も自信を持ってできるようになった。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は毎日開いていて、平日は24時間開いています。本や学術論文などの多くが電子化されています。ユニオン(学生会館)には、飲食店(ファストフードやバー)やコンビニ、ホールのほかにも、映画やボウリング、ビリヤードといった娯楽施設があります。

4. 生活面

* 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

大学から車で5~10分ほど離れた、Cambridge Commonsという寮に住んでいた。寮の部屋はベッドルームが2つ、キッチン、リビング、バスルームで構成されていた。計4人で1つの部屋に住んでいた。ベッドルームは2人で共有していた。

4-2. 食生活について

部屋にキッチンがついていたため、主に自炊をしていた。寮から徒歩5分のところにスーパーがあったので、週1回程度買い物に行っていた。寮の下にはカフェテリアがあり、ミールプランに申し込むと利用できたが、私は利用しなかった。時々、友達と外食をしたり、一緒に料理をしたりしていた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

携帯電話はwifi環境下で使用するために、日本で使っていたスマートフォンを持って行った。また、現地で急な連絡(電話やSMS)をとるために、プリペイド携帯を購入した。寮ではwifiルーターをつなげてインターネットを利用していた。大学、カフェなど至る所でwifiが利用可能でした。

4-4. 服装について

日本からTシャツやズボン、ニットを主に持っていきました。毎日ズボンを履いていました。また、大学グッズのパーカーもよく着ていました。厚手のウィンターコートは現地で購入しました。

4-5. 健康管理について

部屋では常に空調が入って空気が乾燥していた。できるだけ換気をするように心がけた。日本では風邪を年に2~3回ひいていたが、留学中は一度も風邪をひかなかった。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

渡米して2週間後でラップトップを破損し、3か月後に交差点でひったくりに遭った。携行品損害の保険に加入していたので、保険金を請求した。

4-7. 課外活動について

特になし。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

Internationalの学生を支援するキリスト教の団体があり、ときどきそこでディナーをごちそうになった。また、ミルウォーキー日本人会のイベントにボランティアとして参加した。

4-9. 日本から持参してよかったもの

角ハンガー、洗濯ネット、日本の調味料、日本のお菓子。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

特になし。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

挨拶ではほぼ毎回相手の調子を尋ねる。尋ねられたら尋ね返さないと不快な思いをする人もいる。日本とは異なり、学科等でコミュニティがない。そのため、グループで仲良くするといった機会はそれほど多くない。チップは毎回しなければならない。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

カリフォルニア(ロサンゼルスとサンフランシスコ)、12月18日から23日、費用600ドル ニューオーリンズ、1月5日から7日、費用220ドル フロリダ(オーランドとマイアミビーチ)、1月8日から13日、費用845ドル メキシコ(メキシコシティとグアナフアト)、3月13日から20日、費用770ドル

5. 報告

5-2. 留学先大学について

大学は五大湖の1つであるミシガン湖から徒歩10分に位置しています。比較的風が強く、夏は過ごしやすく、冬はとても寒いです。最も寒かった日はマイナス20℃でした。大学には、ヨーロッパ系、アフリカ系、アジア系アメリカ人、ヒスパニックと様々な人種の生徒がいます。西岸地方と比べてアジア人が少ないのが特徴です。授業は、様々な学問から比較的自由に選択できます。

5-3. 留学中の様子

留学中は専門の心理学の授業を中心に受け、他にも興味を持っていたコミュニケーションとマーケティングの授業を受講しました。前期は授業に慣れるために、ESLや社会心理学のレクチャーの授業など基礎的な授業を中心に取りました。後期はより実践的な実験社会心理学、今まで学んだことのなかった臨床心理学など、よりチャレンジングな授業を取りました。1つの授業に対して、数回の試験と数回のレポートを課すものがほとんどであるため、平日は基本的に勉強に勤しんでいました。土日はだいたい、1日を遊びに行く日に、もう1日をリラックスのための日にしていました。冬休みや春休みといった長期休みは、たくさん旅行に行きました。アメリカ国内では、カリフォルニア(ロサンゼルスとサンフランシスコ)、フロリダ(マイアミとオーランド)、ルイジアナ(ニューオーリンズ)に行きました。また、春休みには1週間メキシコ(メキシコシティとグアナフアト)に行きました。その他にも、休日には友達とダウンタウンを散策したり、ご飯を食べに行くなど、楽しい日々を過ごしました。

5-4. 留学希望者へのアドバイス

留学中は、授業面でも生活面でもいろんなことに挑戦するといいいと思います。授業面では自分の専攻だけでなく、様々な授業を受けられる貴重な機会です。興味がある授業はどんどん取ってみるといい経験になると思います。生活面では、アメリカの場合移民が多いだけあって、様々な国の文化を体験する機会があります。食文化だけでなく、イベントなど挙げればきりがありません。ただ、自分なりの判断基準を持ち、周りに流されずにやっていいこととやってはいけないことをきちんと自分自身で意思決定できることが大切です。留学前は英語の授業についていけるかどうか心配だとは思いますが、とにかく勉強をしなければならない状況に追い込まれるのでどうにかなる(というかせざるを得なくなる)ので大丈夫です。留学中に授業でならうであろうことを、事前に日本語で重要なポイントを押さえておくと、理解がスムーズに進むと思います。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

1年間の留学を終えて、自分の英語や環境への適応力に対する自信ができました。今後は、英語のスキルを維持できるように英語を使う機会を増やしていきたいと思っています。そして、自分の留学での経験を活かせる仕事を見つけていきたいです。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2015.2作成版